



佛人ジヤツケー氏
葡萄植栽ノ建言

827



114
A 3792



大正十一年四月
大隈侯爵寄贈

予初度、建言ヲ以テ日本ニ葡萄ノ耕作ヲ興
 テ論述レ爾来リヨウゴクノ土地ヲ訪査
 セレテ以テ今ヤ葡萄園ヲ開設セントノ意ヲ以
 テ檢閲シテ該地ノ事ニ附キ予々所見ヲ開
 スルヲ得ヘキナリ

予ハ既ニ諸方ノ地ヲ巡視セシニ土地ノ估價ハ
 何處モ皆同等ニシテ其強半ハ極メテ葡萄ノ耕
 耘ニ適セリ實ニナナノ高原ノ如キハ空氣
 ハ克ク此ニ流通シ大陽ハ克ク之ヲ照曝シ地
 下ノ水ハ克ク木根ニ下ニ流通シ雨水ハ四處

大隈侯爵

内一克ク快流シ以 此地ヲシテ自然ニ乾燥
 ナスルハ又此地ニ浪汰取ノ輕シナル凸凹ト
 往昔馬ヲ畜フガ為ニ設ケタル敷多ノ傾畷ヲ
 リテ巧々ニ葡萄ノ耕耘ニ須要ナル太陽ノ照
 スル場所ト取圍レタル場所アリ是ヲ以テ
 ヲ託レバ此リヨウゴクニ於テ葡萄ノ耕作ヲ為
 スニ於テハ其最良ナル結果ヲ得ルハ予ノ不
 レテ疑ハサル所ナリ
 此地ニ日本帝國ノ諸縣中ヨリ推挙サレタル
 農家ノ群集アリテ彼等ノ皆レヨシス此ノ賢明

い三

ナル指揮ヲ受ケ以テ大耕耘及ヒ家畜養育
 ヲ學ヘリ是レ實ニ予カ既ニ論述セシレ目的即チ
 葡萄酒ヲ製造シ及ヒ葡萄苗ヲ著殖セシムルノ
 意ヲ以テ日本ニ葡萄耕作ノ良法ヲ輸入セシ
 ルノ目的ヲ達スルノ好機會ニ云フヘキナリ
 予ハ今ヲ試ニ臆算ヲ以テ葡萄園ヨリ生
 所ノ額 其費額トク計較スルニ於テハ
 園ハ充分ニ利益ヲ生セシムルノチガ諸民
 ヲ以テ方今格木高價ナリ其產物ヲ購求レシ
 ニテト又々之レ以テ葡萄酒及ヒ諸種ノ以

料ヲ製造レ得バ 本ノレテ是等ノ輸ノ
 外國一拂ヒ出ス 貨物々巨額ニ成レ
 到ラレハ了カ 保證レ得ヘキナリ
 予ハ分試ニテ 開拓セザルヨリ
 地一町ヲ基本レテ 老ノ謄算ヲ編成セシ

第壹年

止也 蔓正スル草木ヲ 掘除ク為メニ
 鉋ヲ使用スルヲ要ス之レヲ使用スルニハ
 一個ニ附テ 四日ノ間ヲ 牛或ハ馬六反一組
 之レヲ指揮スルモ 二人トヲ要ス此ニ且

い四

ノ費用一日六弗 割合ニテ即チ
 二十四弗

手工ヲ以テ 草木ノ根ヲ 除去レ鉋ヲ以テ
 時覆レ畔ヲ 造為レ地ヲ 平坦ニスル等ノ
 為スニ工夫三百二十人分ノ日ニ
 安ス其賃銀一人一日ニ 二十セシ
 ニテ即

六拾五弗
 葡萄苗二万四千
 土代及ヒ運送

三十弗

葡萄苗、植付ケ及ヒ其返シ費用

二十弗

第一年ノ經費合計百三十九弗

第一年

日三拾九弗ノ利息但レ百分ノ十ノ割合ニシテ
之ニ準

十三弗九十セント

葡萄園ノ竹垣及ヒ支柱ニ要スル竹六千五百

本ノ買上代但レ一本ニ付キ天係錢ニ枚

い五

合

百三弗五十セント

工夫百五十人分ノ日工但レ一人ニ附キ二十

セントノ割合以下之ニ準ス

三十弗

佛セ出シタル經費ノ總計二百八十六弗也

センド

第三年

千百八十六弗四十セントノ利息

二十八弗六十セント

工夫百五十人分、日工

三十弗

石灰及肥料

二十弗

總計三百六十五弗の四セント

第四年

三百六十五弗の四セントノ利息

三十六弗五十セント

工夫百五十人分、日工

三十弗

いふ

肥料

二十弗

總計四百五十一弗五十四セント

第五年

四百五十一弗五十四セントノ利息

四十五弗十五セント

工夫百五十人分、日工

三十弗

此ノ期ニ到レハ若干ノ収穫ハ生ヌヘキノ
予ハ之ヲ臆セシテ以テ一本ノ收获四

歳首

右ラム即テ總收^ハ八^ハ斤^トス其價^ハ一^斤ニ
 分^ニ二^セン^ド半^ト見^レ積^ルヤ其總計二百市
 ナリ然レ氏又此中ヨリ葡萄^ノ收^納ニ要スル
 手^ノ一^ノ費用^ヲ除去セサルヘカラズ此費^負ス
 收^獲總價ノ百分ノ十トスレハ即テ
 二十市
 茲五年ノ終尾ニ於ケル経費ノ總計五
 十六市六十九センド
 此中ヨリ收^獲ノ總價二百市ヲ除去スレハ算
 金ノ残額

い七

第三百四十六市六十九セント
 第六年
 三百四十六市六十九セントノ利息
 三十四市六十セント
 最初ヨリモ一層完全ナル垣^塙ノ造^作費
 百二十市
 百五十人分ノ日工
 三十市
 肥料
 五十市

葡萄ノ収納費用トシ其收穫一万二千八百斤
ト見積リ其價ハ一斤ニ付キニセント半ノ割
合ラ以テ三百二十弗ト為シ其百分ノ十ヲ以
テ其収納費トス

三十二弗

總計六百十三弗三十五セント

此中ヨリ以復ノ總價三百二十弗ヲ除キ

残額三百九十三弗三十五セント

第七年

償却スヘキ資金二百九十三弗三十五セントノ利息

いハ

二十九弗三十三セント

工夫百五十人分ノ百工

三十弗

爰ニ到レハ收穫ノ量充分スヘキヲ以テ予

一万二千本ノ收穫ヲ二萬斤ト見積ルモ

テ不當ニ非サルベシ而シテ其價ハ一斤ニ

キニセント半ノ割合ニシテ五百弗トス其百

分ノ十ヲ以テ収納費用トスレハ即チ

五十弗

必要ナル諸費

二十五弗

第一年ヨリ第七年ニ到ル諸経費ノ總計四百二十七弗六十八セント

此中ヨリ第七年ノ收获ノ總價五百弗ヲ引去ルベキナリ其差ハ

七十二弗

是レ葡萄耕作ノ純益ナリ

以上ノ豫算ニ據ルハ一町ニ附キ七ケ年ノコトハ七十二弗ノ純益ヲ得ヘキナリ而シテ第八年ニ到レハ嘗テ使用セシ資金ハ既ニ全ク償中

一九

レシヲ以テ其收获ノ之レカ為メニ差引サルコトナク當ニ此中ヨリ引去ルヘキモノハ必用ナル諸雜費ノミニシテ予ハ之レヲ凡ソ百弗ト定ス然レハ毎歳四百弗ノ純益アリ是レラニシテ之レヲ觀レハ百町ノ平均純益ハ毎歳四萬弗ルヘシ然レバ予ハ第八年ヨリ後

年

テハ屢ニ五萬弗ノ負數ニ達スルコトアルコト

スルナリ

以上ノ概算ニ據リ且ツ此地ノ地價ヲ定ムルニハ其歳入額ヲ以テ之本ト為スニ於テハ百町

地面、年々四万弗ノ歳入ヲ生スヘキヲ以テ其
十倍ノ割合ヲ以テセハ四十萬弗ノ估價ヲ有ス
ルモノナリト予ハ確言シ得ヘキ也
予ハ初度、建言ヲ以テ或ル一樹ノ事ニ付、既
ニ實下ニ高議シタリ蓋シ其果實ハ茹莖ト曰
ノモノ、如クニシテ日本ノ農事ニ於テ一六
要ノモノトナルニ到ルヘキヲ以テナリ又取
光リヲ發スヘキ至白ノ蠟ヲ搾出シ得ル油質
ル一樹ノ事ニ附キテ、既ニ陳述シタリ
抑シ此ニ樹タルヤ何レノ地下虫氏必ラハ之

二十

ニ適セサルヲナク又其耕作ノ方法モ極メテ簡
易ノモノナレハ其耕作ハ必ラス廻廻徒事
キ一事トナルヘキナリ又之レヲ培養スル
下等ノ地ヲ以テ足レリトシ且ソ甚タ容易ナル
手エヲ要スルノミニシテ實ニ其強粗ナル以テ
見ルヘキナリ故ニ此耕作ノ事ニ附テハ予、予
細説明スルヲ欲タサルヘシ
予ハ上ニ掲示シタル葡萄苗ノ運送費トハ帝
佛蘭西諸方ノ葡萄園ヨリ馬塞里港ニテノ運賃
ノミナレハ之レニ回港ヨリ「ナナエ」マテノ船

積、算入セサルヘカラズ予ハ臆算ニ依テ此ノ
運賃葡萄苗二万四千本ニ付キ二十弗トス
以上陳述スル所ハ日本ニ葡萄園ヲ開設セン
ニ付キ予カ所見ト豫算トノ大畧ナリ

横濱

千八百七十六年四月一日

ルベンジヤツケー宛押

ルゼ子ラリル李仙碍

貴下

